



小倉 祥子

銀座テラーグループ  
取締役社長

## アートの メルティング・ポット ロンドン

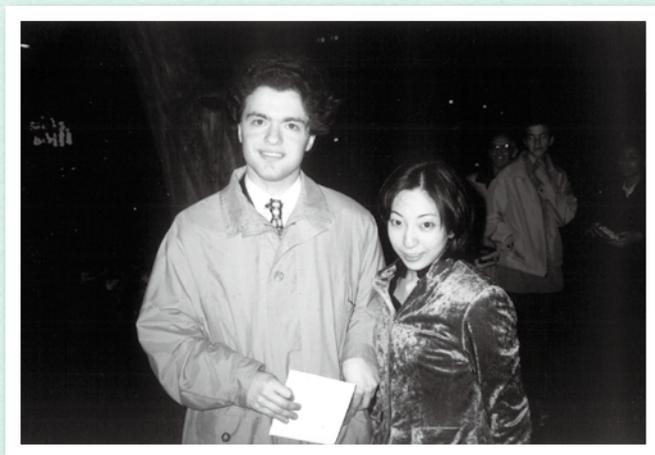
1999年、ロンドンのロイヤル・フェスティバルホールで開催されたクラシックコンサート終了後、その演奏者だった世界的な有名ピアニスト、エフゲニー・ケーシン氏とのショットです。曲目はラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、指揮者はウラディーミル・アシュケナージ氏という豪華共演だったのを覚えています。

当時20歳だった私は技術もままならない段階で、無謀にもロンドンの王立音楽大学に留学しました。写真に写っているケーシン氏は、日本でも大変人気のあるピアニストで、彼のロシア音楽の世界観と美しさに圧倒され、自分もプロの道を目指したいと思いました。練習ばかりの日々を過ごしましたが、音楽の世界も海外生活も初めての私に大きな試練の山が立て続けに起こり、結論から言うと夢破れての帰国となりました。

今でもクラシックが街中で楽しめる雰囲気が残っているロ

ンドン。日本ではなかなか聴くことのできない巨匠アーティストの演奏が、当時は学生席で5ポンドから購入できました。教会など、学生が演奏できる場も多く、生活の一部に音楽をはじめとするアートが常にあり、たまの休日は入場無料の美術館で一日を過ごしたり、演奏会に参加したりしていました。大学にはヨーロッパやアジア圏からの留学生も多く、異文化の空気が流れ、音楽を通してのコミュニケーションは、とても思い出深いです。最終的には大きな挫折を味わうことになりましたが、留学生活全ての経験こそが、今の経営や育児など、さまざまな形となって大きな広がりを見せてくれています。

留学中に会った音楽家の友人たちは、コロナ禍でも懸命に音楽活動を続け、さまざまな試練を乗り越えています。自分の人生と音楽の関わり方は予定とは異なりましたが、変わらず音楽を愛し、音楽家の仲間がまた世界のステージで演奏できる日を心より祈っております。



世界的な有名ピアニスト、エフゲニー・ケーシン氏と